

委員会活動報告書

別紙のとおり、福祉建設経済委員会の活動について報告します。

令和6年10月11日

光市議会議長 森戸芳史様

光市議会福祉建設経済委員会

委員長 田邊 学

副委員長 中村 譲

委員 大田 敏司

委員 河村 龍男

委員 小林 隆司

委員 田中 陽三

委員 萬谷 竹彦

委員会活動報告書

福祉建設経済委員会では、令和4年12月16日から協議を行い、年間テーマとして、「手話言語条例」、「有害鳥獣対策」、「中小企業活性化に向けた取組」の3項目を設定し、調査研究活動を行いました。また、1年目における調査研究活動の進捗状況等に鑑み、2年目も同一テーマによる調査研究活動に引き続き取り組みました。

これらの活動等について、以下のとおり報告します。

1 調査研究活動の経過

研究テーマの調査研究を行うため、委員会協議会を開催するとともに、市内、県内及び県外への行政視察を実施しました。

また、市議会報告会及び意見交換会において委員会活動報告を行いました。

【活動経過】

	開催日等	内容
1	令和4年12月6日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・研究テーマの選定について協議
2	令和4年12月23日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・「手話言語条例」、「有害鳥獣対策」、「中小企業活性化に向けた取組」の3項目を研究テーマにすることを決定
3	令和5年1月13日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・本市の現状や課題、国県の動向などを研究
4	令和5年2月1日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・今後の調査研究活動の進め方などを協議
5	令和5年2月20日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・今後の調査研究活動の進め方などを協議
6	令和5年3月23日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・今後の調査研究活動の進め方などを協議
7	令和5年4月20日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・本市の現状や施策、他自治体の先進事例等を研究

	開催日等	内容
8	令和 5 年 4 月 26 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・本市の現状や施策、先進自治体の事例等を研究 ・行政視察の実施（視察先の選定）について協議
9	令和 5 年 6 月 2 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・行政視察の内容及び行程等を協議
10	令和 5 年 6 月 26 日	有害鳥獣対策に係る行政視察を実施 【視察先】 光市塩田地区 【調査事項】 ・防護柵設置事業の現地視察 ・ICTわな設置事業の現地視察
11	令和 5 年 6 月 29 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・行政視察の内容及び行程等を協議
12	令和 5 年 7 月 4 日	手話言語条例に係る行政視察を実施 【視察先】 山口県聴覚障害者情報センター（山口市） 【調査事項】 ・山口県聴覚障害者情報センターの業務内容について ・施設見学
13	令和 5 年 7 月 31 日	視察報告書（6 月 26 日実施分）を提出
14	令和 5 年 8 月 8 日	視察報告書（7 月 4 日実施分）を提出
15	令和 5 年 8 月 8 日	台風第 6 号接近のため、兵庫県明石市及び広島県三原市で予定していた行政視察を中止
16	令和 5 年 8 月 23 日 24 日、26 日、27 日	第 12 回光市議会報告会及び意見交換会において、委員会活動報告を実施
17	令和 5 年 9 月 8 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・今後の調査研究活動の進め方などを協議
18	令和 5 年 11 月 13 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・今後の調査研究活動の進め方などを協議
19	令和 5 年 12 月 4 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・先進自治体の事例等を研究 ・行政視察の実施（視察先の選定）について協議

	開催日等	内容
20	令和 6 年 1 月 24 日 ～1 月 25 日	手話言語条例及び有害鳥獣対策に係る行政視察を実施 【視察先】 兵庫県明石市及び三田市 【調査事項】 ＜兵庫県明石市＞ ・手話言語・障害者コミュニケーション条例について ・共生のまちづくりについて ＜兵庫県三田市＞ ・「さんだ里山スマートシティ」について （害獣対策について 他）
21	令和 6 年 2 月 21 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・視察報告等（1 月 24 日～25 日実施分）について協議
22	令和 6 年 3 月 4 日	視察報告書（1 月 24 日～25 日実施分）を提出
23	令和 6 年 3 月 19 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・今後の調査研究活動の進め方などを協議
24	令和 6 年 6 月 7 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・委員会活動報告書のとりまとめ等について協議
25	令和 6 年 7 月 9 日	第 13 回光市議会報告会及び意見交換会において、委員会活動報告を実施
26	令和 6 年 9 月 9 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・委員会活動報告書の内容等に係る協議・調整
27	令和 6 年 9 月 26 日	福祉建設経済委員会協議会を開催 ・委員会活動報告書の内容等を決定
28	令和 6 年 10 月 11 日	委員会活動報告書を提出

2 委員会テーマについて

(1) 手話言語条例について

ア 背景

本市では、「やさしさと笑顔で共に支えあう 心ゆたかなまちづくり」を基本理念に掲げ、障害などの有無にかかわらず、全ての市民がお互いに理解し、尊重しながら、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう様々な施策に取り組んでいます。

市民一人ひとりがお互いの人格と個性を尊重し合う共生社会の実現を図ることは重要な政策課題であり、そのための取組の一つとして、手話を一つの言語として位置づけ、手話の普及等を促進するための「手話言語条例」について、調査研究を行うこととしました。

イ 調査研究の成果等

委員会協議会において、本市の現状や施策、他自治体の先進事例等について調査研究するとともに、山口県聴覚障害者情報センターへの視察では、聴覚障害者福祉のまさに最前線で日々ご活躍されているセンター職員の皆様から、聴覚障害者の方々を取り巻く現状と課題などについて直接説明を受けました。また、先進地である兵庫県明石市において、「手話言語・障害者コミュニケーション条例」及び「共生のまちづくり」の取組について視察を行いました。

これらの調査研究活動を通じて、聴覚障害者を取り巻く現状や課題、共生社会の実現に向けた取組等について、委員一人ひとりの見識を深めることで、委員会審査における議論の深化等につながりました。

今後も、本市における課題等をさらに抽出したうえで、手話言語条例の制定など、障害者福祉の一層の増進を図る必要があります。

(2) 有害鳥獣対策について

ア 背景

近年、鳥獣の生息区域の拡大や狩猟者の減少、耕作放棄地の増加などにより、鳥獣による農作物への被害は増加傾向にあり、

本市においても防護柵の設置やＩＣＴ箱わなの導入など様々な対策を講じていますが、被害は高止まりの状況となっています。

農家の生産意欲を削ぎ、農地の荒廃を招く鳥獣被害への対策はますます重要性を増しており、また、ＩＣＴ技術を活用した鳥獣対策やジビエへの活用など他自治体において様々な特色のある取組が展開されていることから、「有害鳥獣対策」について、調査研究を行うこととしました。

イ 調査研究の成果等

委員会協議会において、本市の現状や施策、他自治体の先進事例等について調査研究するとともに、本市の「防護柵設置事業」及び「ＩＣＴわな設置事業」の取組について、現地視察を実施しました。また、先進地である兵庫県三田市において、「ＩＣＴ技術を活用した有害鳥獣対策」の取組について視察を行いました。

これらの調査研究活動を通じて、有害鳥獣対策に係る現状や課題、他自治体等における取組等について、委員一人ひとりの見識を深めることで、委員会審査における議論の深化等につながりました。

なお、本市では、鳥獣捕獲体制強化のため、狩猟免許を有する鳥獣被害対策専門の会計年度任用職員を令和５年度から新たに任用するなどの取組が行われることとなりました。

また、本市の有害鳥獣対策に係るＩＣＴ化の取組として、わなの作動をメールで通知する「ＩＣＴわな」を導入しており、日常の見回り回数の軽減とともに、捕獲した鳥獣の止め刺しの準備や人手の確保を事前にすることが可能となるなど、捕獲員の負担軽減につながっています。ＩＣＴ化のさらなる取組により、捕獲活動の効率化や負担軽減等が期待できることから、執行部に対し、今後も引き続き、先進事例の調査研究や新たな機器の導入など、一層の取組を推進するよう求めました。

（３）中小企業活性化に向けた取組について

ア 背景

経済のグローバル化に伴う企業間競争の激化に加え、近年の原材料価格の高騰や少子高齢化に伴う労働力不足など、中小企

業を取り巻く経済環境は大変厳しい状況となっています。

中小企業は地域経済の発展や雇用の創出など地域経済の活性化及び市民生活の向上に重要な役割を果たしており、中小企業の振興は本市にとっても重要な政策課題であることから、「中小企業活性化に向けた取組」について、調査研究を行うこととしました。

イ 調査研究の成果等

委員会協議会において、山口県内の中小企業の実態、国及び県による中小企業活性化に向けた施策等について調査研究を行いました。

本市の経済を支える中小企業の活性化は重要な政策課題であり、引き続きの調査研究活動の実施等が必要と思われます。